

## 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北アルプス山麓ブランド活性化推進事業
事業主体 (連絡先)	北アルプス山麓農畜産物ブランド運営委員会 (TEL 0261-23-6511)
事業区分	農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,500,000円 (うち支援金: 1,200,000円)

## 事業内容

北アルプス山麓ブランドの海外に向けた認知度の向上と販売促進を図るため、日本産食品の認知度の高い「台湾」において、現地店舗への輸出に取組んだ。

主な内容は以下のとおり。

- 北アルプス山麓ブランド品の海外展開「台湾」
  - ・事業者と裕源「裕毛屋」との対面商談(6月2日)
  - ・北アルプス山麓物産展の開催(2回)
    - 日時: 令和4年8月20日(金)~22日(日)
    - 令和4年11月5日(土)~6日(日)
    - 場所: 台湾・台中市 裕毛屋「公益店」
- ブランド品の認定審査
  - ・北アルプス山麓ブランド認定委員会の開催  
新規認定(認定審査会: 令和4年11月18日)
- その他(ブランド品PR)
  - ・「北アルプス山麓ブランドの日」でのPR  
池田町高瀬中学校体育館(令和4年11月19日)
  - ・「北アルプス山麓」こめカレーの募集とPR  
11商品(11事業者)の応募があり審査会で認定  
(審査会: 令和4年11月9日)



【販売店チラシ】

【目標・ねらい】

- ① 北アルプス山麓ブランド品の認知度向上及び販路拡大
- ② 地域内にある優れた商品を認定し、商品のブランド化と販売促進を図る。

※自己評価【B】

## 【理由】

- ① コロナ禍で現地へ渡航して販売促進はできなかったものの、対面商談(7事業者と実施)により新たな取引の拡大にもつながった、
- ② コロナ禍により食品産業の販売不振の中、新品目として開発された商品を、ブランド品として認定することができた。

## 事業効果

- ① 台湾における販路拡大(物産展を契機に取引開始)
  - ・取引品目数 44品 10事業者
- ② 北アルプス山麓ブランド新規認定品数
  - ・新規認定品目数 4品目(2事業者)

事業者名	認定品名
みとろクリエイト (大町市)	とま味噌
	ばいはるちゃにおやき
峯村農園(大町市)	畑で搾った赤いりんごジュース
	畑でつくった赤果肉りんごジャム

## 今後の取り組み

- ① 台湾への販路拡大(輸出拡大)へ向け取組みを継続し、現地での取り扱い(商談成立)を目指した商品づくりの研究を進めるとともに、これまで取引が継続し、店舗の定番商品として定着するよう商談や販売促進に取り組む。
- ② コロナ禍で減少した観光客が徐々に戻りつつある中で、観光誘客と北アルプス山麓の「食」と連携したブランド品の販売促進と、地域内の優れた商品のブランド品としての認定を推進する。